



新栄だより vol.25



富山(岩瀬)の新しい時代の始まりです

柁田酒造店様の物販施設が8月にオープンされました

回船問屋「沙石」をご紹介します



▲岩瀬大町通りから見た正面入り口

柁田酒造店様の物販施設「沙石」がオープンしました

岩瀬の柁田酒造店様の物販施設が、回船問屋 宮城家を解体再生し、新たに「沙石」として8月にオープンしました。物販施設棟内に入っておられる和食「御料理いじ居」様も同時にオープンされています。また、敷地内にはイタリア料理「ピアット・スズキ・チンクエ」様が今年3月に先にオープンされています(次ページ参照願います)。

今回私は大阪の道下浩樹デザイン事務所様、ラミネート・ラボ様、周建築設計事務所様のご指導のもと、電気工事を担当させて頂きました。デザイナーの道下様は海外でも多くの店舗を手掛けておられ、国内におられても東京・大阪と多忙で、富山での本件打合せ時間が少ない中、メールでの質疑回答はスケッチ等でわかりやすく直ぐに対応頂けたので、安心して工事を進めることが出来ました。ただし一つ一つの施工内容が難しく、照明を収めるのに建築工事が必要で、ラミネート・ラボ様には大変お世話になりました。

本工事に関わる全ての業種の方々は、良いものを作るために見えないところで難問を抱え、お客様にご満足いただくために施工し出来上がった現場です。来年春には富山駅が南北一体化され、富山市では新たなまちづくりが始まります。いち早く岩瀬のまちづくり事業(江戸時代の野田気が残るレトロな港町づくり)を手掛けておられる岩瀬地区は、昔からの人のつながりや伝統文化を守り、独特な芸術性を有し、歴史を生かした独特のまちづくりが出来ています。この「沙石」もそのまちづくりの一環です。

今回新たにオープンしましたこの「沙石」に、そしてこの岩瀬のまちへ、是非大切な方々とお越し頂いて楽しんで頂ければ幸いです。この現場は私にとって1年以上の長期の現場でしたが、この現場での経験は何事にも代えがたい財産であり自信となりました。この現場の経験を活かし、これからも業務に取り組んで参ります。今回このような工事を担当させて頂きましたことに感謝致します。特に柁田社長様の思いや、道下浩樹デザイン事務所様、ラミネート・ラボ様、周建築設計事務所様の担当各位様に感謝申し上げます。ありがとうございました。(工事部・上沢)

物販施設(沙石)



▲ポーチ灯はガラス作家・安田泰三様の作品です



▲至る所に御神木が使用されています
井波別院瑞泉寺境内で落雷を受けた杉が使用されています



▲店内の様子です



▲受付カウンターの様子です



▲冷酒の一番おいしい状態で試飲できます



▲2階住宅棟 ダイニングキッチン

イタリア料理「ピアット・スズキ・チンクエ」様(沙石)



▲店内の様子です



▲まるで林の中にあるような空間です



▲ダイナミックなストーンアプローチ
(アール・タチバナ様施工)

和食「御料理 ふじ居」様(沙石)



▲上品なカウンター席からは中庭が一望できます



▲落ち着いた和室



▲伏見稲荷大社の千本鳥居をデザインした鳥居
(アール・タチバナ様施工)

富山駅周辺整備事業に当社も施工させて頂いております

富山駅周辺整備事業完成時のイメージです

1908年に富山駅が現在の場所に設置されてから100年余り、2015年には北陸新幹線が開通し(2020年3月で5周年を迎えます)、富山駅は富山の玄関口として新たな時代を迎えました。富山駅周辺整備事業の特徴として、富山駅周辺では北陸新幹線の整備をきっかけに在来線を高架化し、南北に分断された市街地を一体化するまちづくりが進められています。



富山県ホームページより
Webメディア「マチノコエ」より

施工検討会を開催しました



私は、富山駅周辺整備事業の一部として「停留所壁面整備工事」と「南北自由通路整備工事」を担当させて頂いております。

「停留所壁面整備工事」は、路面電車の南北が接続されることに伴い停留所の壁面を整備する工事です。壁面はアートガラスで作られ、電気工事としてはアートガラスのライトアップが主な工事となります。

「南北自由通路整備工事」は、現在仮設で開通している富山駅を南北に横断する通路を広げ整備する工事です。

施工的には4年前に当社の高橋が担当、施工させて頂いた工事の既存接続延長がメインとなりますが、富山駅が運営中での既存接続工事は限られたものがあり、富山市様・佐藤工業様と相談・協議の上慎重に進めていきたいと思っております。

富山県のシンボルでもある富山駅の整備工事に携わることができ、とても嬉しく誇りに感じると共に自覚と責任感を持ち、少しでも良いものを作れるようこれからも業務に励んでいきたいと思っております。どうぞご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

(工事部・姫野)

第24回 資質向上研修会 「働き方改革について」

6月15日、当社大会議室にて当社全社員と協力業者の方々で株式会社アイバック社長小沢様にご講演を頂きました。

働き方改革は「はたを楽にする改革」(講演要旨)

日本は今、世界情勢・イランの問題、国内では年金2,000万円問題と様々な問題を抱えています。古くから日本は、イランやアメリカから尊敬されてきました。それは日本には古くから武士道精神・孔子の儒教があり、正しいものの判断が出来た日本人の生き方が尊敬されていました。

「働き方改革」はある程度休日には必要ですが、もっとも休日の多い国は日本です。TBSテレビの「下町ロケット」はブラック企業でしょうか？いろいろな意見がありますがもう一度働くことを見直すことが必要です。

仕事をするのは当たり前。仕事をして遊ぶから楽しいと感じる。遊んでばかりいると本当に楽しいのでしょうか？もう一度原点に戻る事、当たり前前に仕事をしなかったら見返りが無い。仕事をしないのに見返りがあるのは当たり前のことではない。人間の心理は働くために生まれてきました。傍を楽にする事。この気持ちがあるか？ないか？とでは人生が変わってきます。成功の人は誠実で忍耐強さをもって人、そして勤勉な人です。頭の良い人が成功するかと言うとあまり成功していません。

正しい事の判断と誠実さと勤勉さは次の世代の子供たちに残さなくてはなりません。働く事ははたを楽にする事、それはお客様のために仕事をする(自分の都合ではなく)、そして働く事は付加価値を作る事なのです。

ただ時間を使って人に言われた物を作るのは、単なる作業です。仕事は価値なんです。キーポイントは全て人間が感じる誠実さの先に善意があります。善意とは信頼感を得ること、そこから人は自信を持ちます。大切なのはしっかり仕事をし、楽しむ習慣を持つこと。

人間が生きている限り、役に立っている間は仕事 comes。社内全体がお互いに協力、連携、思いやりを持ち、感謝の気持ちをもつことです。感謝の気持ちは連鎖します。これが重要なポイントとなります。そして仕事に希望をもつことが会社の発展と繋がります。しっかり仕事をして楽しむ習慣をもちましょう。



第24回目となる資質向上研修会では「働き方改革」をテーマに小沢社長にご講演頂きました。人生において最も長い時間を費やす働く事・仕事をする事に関して改めて考え直す良い機会となりました。「働き方改革」という世の中の流れでありますが、働く事・仕事をする事の本質を理解していないと「誤った働き方改革」になり、充実した人生は送れないということを学ばせていただきました。

数年前に当社の年間スローガンとして使用した「よく働き・よく遊び・よく学び」を真に実行するためにも、喜んでいただけるしっかりした仕事をし、連携を図り相乗効果を出し、達成感をつかち合い、余暇の時間も充実させる、という働き方改革を進めてまいります。

小沢社長におかれましては、大変ご多忙の中貴重なご講演をいただき誠にありがとうございました。

(営業企画部・清水)

おかげ様で40周年記念パーティーを行いました

当社は昭和53年4月1日に創業し、昨年40周年を迎えました。

昨年12月15日に創業40周年として、ささやかではありますが当社社員と協力業者(新友会)様で記念パーティーを行いました。パーティーの企画と進行は総務が中心となり、各部署にも進行をお願いして進めました。心に残るパーティーにしたいと、乾杯をしている集合写真を撮ったり、創業当初からの懐かしい写真をスライドショーで披露したり、OB沢崎さんのご令嬢、フルート奏者ゆみ様の生演奏などを企画しました。雰囲気の良い心に残るパーティーになったかと思えます。

今回、企画の立場として、参加された全ての方々に喜んで頂きたいと半年前から計画を立てました。無事にパーティーが終わり、感謝の言葉を頂いて大変安堵し、自分自身も感動致しました。

当社は社是「愛」を基本に、人に尽くす、人のお役に立つ仕事をさせて頂き、これからも長く続く企業でありたいと思います。これからもご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。

(総務部・酒井)



▲40周年記念ケーキ



▲全員で乾杯しています



▲OB沢崎さんのご令嬢 ゆみ様

40年の節目となった施工実績です(官庁工事を中心としました)



▲2010年6月
富山市商工会議所創立130年記念事業



▲2015年2月竣工
富山駅改札口手前のフロアシャンテリア



▲2016年3月より運転開始した
富山新港太陽光発電所



▲2017年10月オープン
富山県産業展示館(テクノホール)新展示場

近況報告

工事部工事課

私は入社して2年経ちました。この2年間は上司に相談しながら住宅の改修工事や工事現場の仮設工事をさせて頂き、現場での専門知識や施工技術、現場での動きやタイミングを読む事の大切さを教わりました。

4月からは後輩が2人入社して、私が先輩になるので「若手社員ステップアップ」という講習を受講しました。このセミナーでは初対面同士のチームを作り、一人一人がリーダーシップを発揮してチーム内全員が発言出来るように演習を行い、チーム力を上げるためのミニゲームを行いました。このゲームの目的は、初対面同士でも仲が良い悪いに関係なくチームとして同じ目的・目標を理解し共有して、目的を達成できれば合格という内容です。他に後輩への指導の仕方や、どのような人が頼りにされるかを学びました。

今は後輩と一緒に大型工事の施工させて頂いております。このセミナーで学んだことや周りの先輩方の意見を取り入れて、後輩の育成とお互いが成長できるように頑張りたいと思います。これからもご指導の程よろしくお願い致します。

(工事部工事課・佐藤)



▲新入社員西川、佐藤、新入社員高森

工事部施工管理課

工事部施工管理課の佐伯です。7月28日に長女の愛衣(めい)が誕生しました。

産まれて2ヶ月近く経ちました。どんどん大きくなっていき、子供の成長の早さに驚いています。私が抱くとすぐ泣きますが、泣顔や泣声さえも可愛くて仕方ありません。この貴重な時間を大切にしていきたいです。

新たに家族が加わったことで喜びと共に責任感を感じております。今後とも仕事に一層まい進して参りますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

(工事部施工管理課・佐伯)



▲長女の愛衣ちゃん



折橋社長の朝のひとこと

12月25日

平成天皇が体力的な理由により生前退位の意思を表明されました。30年余り国民の象徴として【忠恕】(ちゅうじょ: 自己の良心に忠実で、他人に対する思いやりが深いこと)の精神で公務を遂行されてきたとのことでした。被災地で跪いて慰問されるお姿が思い出され、国民の幸せと国家の安寧を祈り続けるお姿に心底感服致しました。

1月7日

青山学院陸上部 原晋監督の箱根駅伝5連覇を逃した時の講演を聞きました。往路3区で首位に立った時、「今年も優勝だね」「おめでとう」というメールを頂き、その気になってしまった。結果、その慢心と油断から優勝を逃してしまつたと反省されておりました。

慢心とは、心の中で自分の事を自慢すること・自信過剰や思い上がりです。油断とは、気を緩めること・注意を怠ることです。

これらは何事にも通じるものであり、自分たちも肝に銘じて事にあたっていきたいものです。

4月1日

4月より新入社員2名を迎えるにあたり、入社3年目の佐藤君が「若手社員ステップアップコース」という外部セミナーを受講し、5枚にわたる受講報告書の提出してくれました。

一部報告書の内容をご紹介します。「良い仕事とは、仕事に対する正しい考え方を持つことが大切。一人一人の才能や強みを変えながら貢献するのが仕事である。誰にでもリーダーシップを発揮できる場面がある。リーダーシップに肩書は関係なく主体性である」

受講すること自体「先輩意識」や「自覚」が芽生えた証拠であり、新入社員を迎える心構えが芽生え、「よし!」と思うと同時に、報告書の内容を読むにつれ私自身が忘れかけていたものが思い出され、目からウロコが落ちる思いがしました。本当に初心忘るべからずです。

9月2日

某体育館のLED交換工事の現場を視察に行きました。作業が完了し、いざ点灯してみると50数基の電灯の内、11基が不点灯であった。どうしてか? 当社の担当者と施工班そして館長様みんなで協議し数回やり直しを試みた結果、何とか全灯することができました。

このような経験をしたことが次に活かせる教訓になると共に、施工者のご苦労を痛感することができ、館長様からも感謝のお言葉を頂くことができました。何事も「失敗事例から学ぶ」ことも本当に大切です。

(取締役社長・折橋)

株式会社新栄電設

発行元

〒930-0953 富山県富山市秋吉37-2 TEL: 076-491-5113 FAX: 076-491-5118

(編集・校正: 上沢・大山・松永・清水・酒井・姫野・佐伯・佐藤・OB小林さん)

2019年9月26日発行

新栄だより vol.25の発行は少し遅れましたが今後もよろしくお願い致します。編集一同